

調布市内で働く福祉職のスキルアップのための研修です

## 専門研修(オンデマンド配信)のご案内【5~7月】

市内の福祉職のスキルアップを目指した専門研修です。

講師の方々のご協力により、昨年度に実施した研修の配信と、過去に配信した研修の再配信ができることになりました。新たな学びを得たり、学びを深めたりするためにご活用ください。

〈対象〉市内在勤の福祉職。お一人、何講座でもお申込みいただけます。

〈配信期間〉5月15日(月)~7月7日(金)

〈申込み〉右記QRコードからお申込みください。配信期間になりましたら、URLをお送りいたしますので、アクセスしてご視聴ください。申込み後1週間以内に事務局から連絡がない場合、お手数ですが福祉人材育成センターにご連絡ください。

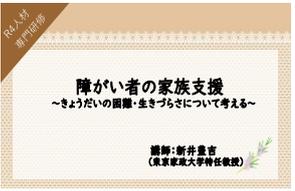
〈申込期間〉5月8日(月)~7月6日(木)



申込フォーム  
QRコード

No	研修タイトル・講師	サンプル動画(試聴用)	内容
①	<p>福祉職が知っておきたい 発達障がい・てんかんの薬 講師: 中川栄二氏 (国立精神・神経医療研究センター)</p> <p>〈120分〉</p>		<p>放課後等デイサービスや就労継続B型事業所、生活介護事業所などの利用者のなかには、発達障がいやてんかんの薬を服用している方が少なくありません。そういった利用者を支援するためには、福祉職として正しい薬の知識を身につけることが必要です。そこで、本研修では薬の種類や効果、注意事項等を学びます。</p>
②	<p>BCP策定研修 (通所事業所向け) 小島秀人氏 (障害福祉課)</p> <p>〈180分〉</p>		<p>2024年までに障害福祉サービス事業所でのBCPの策定が義務化されました。本研修では利用者や職員の安全を確保し、サービスを継続できるようにするため「感染症編」「自然災害編」それぞれの内容の策定のポイントについて学習するとともに、研修内で実際に策定作業を進めていきます。</p>
③	<p>計画相談支援研修 (加算編) 講師: 小島秀人氏(障害福祉課)</p> <p>〈100分〉</p>		<p>「計画相談支援」「障害児相談支援」に関わる職員向けの研修です。「どの加算が対象となるのか」、「どういった要件をクリアすれば加算を算定できるのか」、「加算についての記録はどのようにすればいいのか」など、加算の種類や算定要件を学びます。加算について体系的な知識を得て算定することで、安定した事業収入を確保できるようになります。</p>
④	<p>福祉職の 学びのススメ ~実践研究のすすめ~ 講師: 山本 雅章氏 (調布市社会福祉事業団)</p> <p>〈90分〉</p>		<p>福祉職はなぜ学ばなければならないのでしょうか?そして、どのように学ばよいのでしょうか? 福祉職の学び方や語り、書くことの社会的意義、実践報告の書き方について、自らも働きながら学び続けた山本雅章先生にお話していただきます。 「学ぶ」ことの動機づけが得られる研修です。福祉職としてステップアップしたい方におススメです。</p>
⑤	<p>障害の理解 ~障害を考える視点~ 講師: 山本 雅章氏 (調布市社会福祉事業団)</p> <p>〈124分〉</p>		<p>「障害をどう捉えるのか?」について障害個性論や社会モデル、障害の基本理念の変遷などをおさえながら考えます。 障害に関する法律上の規定や各障害の特性についてもお話していただきますので、障害について学びたい方必見の研修です。</p>

⑥	 <p><b>ケアの眼差しとは何か</b> ～ケア実践の根本問題を考える～ 講師：結城俊哉氏 (立教大学)</p> <p>〈90分〉</p>	<p>ケアの眼差しとは何か ～ケア実践の根本問題を考える～ 結城俊哉氏 (立教大学)</p>		<p>「ケアの眼差し」とは「ケアの対象者を生活者として知覚し、生活の困難を生きづらさと認識する眼差し」を指します。「ケアの眼差し」を手がかりにしながら、「生活の困難」を理解する基本的視点やケアの担い手に望ましい態度、姿勢などについて結城俊哉先生にお話していただきます。自分自身を振り返ることで虐待防止にもつながる研修です。</p>
⑦	 <p><b>尊厳の保持と自立支援</b> ～高齢者虐待を考える～ 講師：結城俊哉氏 (立教大学)</p> <p>〈51分〉</p>	<p>尊厳の保持と自立支援 結城俊哉氏 (立教大学)</p>		<p>なぜ高齢者への虐待が起こるのでしょうか？高齢者への虐待の背景には何かあるのでしょうか？ ケアの本質とは何か？にせまりながら、ケアの担い手が健康を守りながら働くことの大切さについて結城俊哉先生にお話していただきます。特に高齢者支援に関わる方におススメの研修です。</p>
⑧	 <p><b>福祉実践の担い手にとって学ぶということ</b> 講師：結城俊哉氏 (立教大学)</p> <p>〈47分〉</p>	<p>福祉実践の担い手にとって学ぶということ 結城俊哉氏 (立教大学)</p>		<p>なぜ、福祉職に「学び」が必要なのでしょう。 福祉職が日々の実践から学び続けることの意義や多様な「学び方」について、結城俊哉先生にお話していただきます。「学ぶ」ことの動機づけが得られる研修です。</p>
⑨	 <p><b>福祉職としてのコミュニケーションの基本</b> ～利用者と信頼関係を築くために～ 講師：中島悦子氏 (調布市社会福祉事業団)</p> <p>〈79分〉</p>	<p>福祉職としてのコミュニケーションの基本 中島悦子氏 (調布市社会福祉事業団)</p>		<p>利用者や家族と信頼関係をつくるための基本や障害のある方の意思決定支援について学びます。 受容と共感、パステイックの7原則、非言語的コミュニケーションの詳しい説明もあります。コミュニケーションスキルを高めたい方や意思決定支援について学びたい方におススメの研修です。</p>
⑩	 <p><b>知的障害のある人への支援</b> 講師：伊藤巧氏 (調布市社会福祉事業団)</p> <p>〈87分〉</p>	<p>知的障害のある人への支援 伊藤巧氏 (調布市社会福祉事業団)</p>		<p>「社会福祉の対象とは何か？」「援助関係とは何か？」「対等な関係性とは何か？」など様々な問いを交えながら人として支援することの大切さについて考えることができる研修です。障害の社会モデルや、知的障害とは何かについて、詳しい説明もあるので、障害分野の方におススメの研修です。</p>
⑪	 <p><b>高齢者をエンパワメントするソーシャルワーク</b> 講師：渡辺裕一氏 (武蔵野大学)</p> <p>〈90分〉</p>	<p>高齢者をエンパワメントするソーシャルワーク 渡辺裕一氏 (武蔵野大学)</p>		<p>高齢者や地域住民のエンパワメントについて「超高齢化した集落」の事例を参考に考えていきます。 地域での生きづらさや困難をどのように捉えて、何を大事に支援していくのか。すでに現場では試行的な取り組みが始まっています。 渡辺先生のお話は高齢者福祉分野の方だけでなく、地域社会の住民としても、ソーシャルワーカーとしても参考になります。全てのソーシャルワーカーにおススメの研修です。</p>
⑫	 <p><b>誰も孤立しない地域をつくるために</b> ～福祉職ができること～ 講師：渡辺裕一氏 (武蔵野大学)</p> <p>〈67分〉</p>	<p>誰も孤立しない地域をつくるために～福祉職ができること～ 渡辺裕一氏 (武蔵野大学)</p>		<p>「見守る」人が実は「見守られている」というパラドックスの話はグループホームなどの施設が地域の見守りの拠点となる可能性を示唆しています。地域福祉分野の方だけでなく、地域の入所・通所施設に勤務する方にぜひ聞いてほしい研修です。</p>
⑬	 <p><b>発達障害者支援の基本</b> 講師：新井豊吉氏 (東京家政大学)</p> <p>〈90分〉</p>	<p>発達障害者支援の基本 新井豊吉氏 (東京家政大学)</p>		<p>特別支援学校の教員として、発達障がいのある児童を長年試行錯誤しながら支援してきた新井豊吉先生に、発達障害の特性をたくさん事例の踏まえながらお話していただきます。動画がたくさんあるので、一つひとつの特徴を丁寧に理解することができます。 特に児童の支援をしている方におススメです。発達障害の特性を理解することで虐待防止にもつながる研修です</p>

<p>14</p>  <p>講師：新井豊吉 (東京家政大学特任教授)</p> <p>〈80分〉</p>	<p>障がい者の家族支援～きょうだいの困難と生きづらさを考える～</p> <p>新井豊吉氏 (東京家政大学)</p>		<p>障がいを持つ人の「きょうだい」には、寂しい思いをする傾向があり、周囲には理解されにくい困難があると言われています。</p> <p>本研修では障がい者の家族を支援するために、「きょうだい」の抱える困難・生きづらさに焦点を当て、新井豊吉先生にご講義いただきます。また、「きょうだい」当事者による体験談もありますので、さらに理解を深めることができます。</p>
<p>15</p>  <p>講師：井上雅彦氏 (鳥取大学医学系研究科)</p> <p>2021年12月2日(木)10時～12時 Zoom配信</p> <p>〈120分〉</p>	<p>発達が気になる子どもの家族支援</p> <p>井上雅彦氏 (鳥取大学)</p>		<p>障害がある子どもを支援するためには、家族を含めたトータルな支援が必要です。特に発達障がいの場合、障害のわかりにくさが家族自身の不安やストレスを招くことがあります。本研修では、自閉症や発達障害のある人たちとその家族のためにさまざまな支援プログラムを開発している井上雅彦先生に、家族支援における支援者としての基本的な理解と関わりなどについてお話をもらいます。</p>
<p>16</p>  <p>講師：室田信一氏 (東京都立大学)</p> <p>〈90分〉</p>	<p>コミュニティ・オーガナイズingを学ぶ</p> <p>室田信一氏 (東京都立大学)</p>		<p>コミュニティ・オーガナイズingとは地域住民の力で地域や社会を変えていく方法であり、考え方を言います。</p> <p>自らもアメリカで仲間を作り、変化を求めて行動したコミュニティ・オーガナイズing経験のある室田信一先生にお話をいただきます。</p> <p>地域を変えたい、組織を変えたいなど、何か変化を起こしたいけれどもどう行動したらわからない方におススメの研修です。</p>
<p>17</p>  <p>講師：稲沢公一氏 (東洋大学)</p> <p>〈90分〉</p>	<p>改めて自己決定について考える～自己決定の落とし穴～</p> <p>稲沢公一氏 (東洋大学)</p>		<p>「自己決定の尊重」はバーステックの7原則にもあるように、ソーシャルワーカーとして大切にしなければいけない考え方です。でも、「自己決定」とは具体的にはどのようなことで、何を大事にすればいいのでしょうか？自己決定の目的化にはらむ問題について稲沢公一先生がクリアに説明してくださいませ。すべての福祉職におススメの研修です。</p>
<p>18</p>  <p>講師：稲沢公一氏 (東洋大学)</p> <p>〈90分〉</p>	<p>エンパワメントのパラドックス</p> <p>稲沢公一氏 (東洋大学)</p>		<p>福祉のみならずいろんな分野で使われる「エンパワメント」という言葉ですが、もともとはどのような場面で使われていたのでしょうか？「エンパワメント」の歴史的背景や活動レベル、援助関係について学んだ後に、その「パラドックス(逆説)」について稲沢公一先生にお話をいただきます。</p> <p>「エンパワメント」という切り口ですが、対人援助そのものについて考えることができます。自分の実践を振り返る手がかりになる研修です。</p>
<p>19</p>  <p>講師：清水有香氏 (SST普及協会 認定講師)</p> <p>〈70分〉</p>	<p>わかりやすいSST</p> <p>清水有香氏 (SST普及協会)</p>		<p>こころの健康支援センターで長年SSTの講師をしている清水有香先生にSSTの基本的な知識をお話していただきます。</p> <p>面接場面でも使える「ひとり(個別)SST」の簡単な説明もありますので、相談援助スキルの一つとして学ぶことができます。SSTの様子場面を再現した動画もありますので、実際のSSTの雰囲気をつかむことができます。</p>
<p>20</p>  <p>講師：木下大生氏 (武蔵野大学)</p> <p>〈113分〉</p>	<p>知的障がいがある人の認知症</p> <p>木下大生氏 (武蔵野大学)</p>		<p>知的障がいのある方の老化やダウン症とダウン症ではない知的障がいの方の認知症状の違い、支援者が知っておきたいポイントについて、木下大生先生にお話ししていただきます。</p> <p>利用者の高齢化への対応が課題となっている障がい者施設の職員の方や、知的障がい者支援に携わっている方におススメの研修です。</p>

<p>21</p>	 <p>罪を犯した知的障がい者の支援 木下大生氏 (武蔵野大学)</p> <p>〈90分〉</p>		<p>知的障がいがある方が罪を犯す背景には一体何があるのでしょうか？刑務所にいる知的障がい者の実態や司法と福祉の連携について、木下大生先生にお話していただきます。</p> <p>福祉が司法化した時の弊害についての先生のご指摘は、ソーシャルワーカーとしての支援観に立ち返るきっかけを与えてくれます。知的障がいの支援に興味のある人だけでなく、全てのソーシャルワーカーにおススメの研修です。</p>
<p>22</p>	 <p>多様な人たちが生きていける社会とは～新型コロナウイルスを手がかりに～ 平野方紹氏 (立教大学)</p> <p>〈60分〉</p>		<p>新型コロナウイルスの特別定額給付金で注目を浴びた「ベーシックインカム」について、その歴史的背景や基本的な知識をおさえたうえで、「ベーシックインカム」が導入された場合、障害福祉サービスはどのようになるのか、障害者が働く意義とはなんなのか、などについて平野方紹先生にお話していただきます。</p>
<p>23</p>	 <p>強い組織をつくる～人材育成と組織の継承～ 天野聖子 (元・多摩棕櫚亭協会)</p> <p>〈100分〉</p>		<p>社会福祉法人多摩棕櫚亭協会を設立した天野聖子さんに、組織を発展・維持させるために必要な人材育成と事業の継承のポイントについて、ご自身の経験を踏まえながら、お話していただきます。人材育成や組織の世代交代などに関心がある方におススメの研修です。</p>
<p>24</p>	 <p>医療的ケアって大変なことなの？ 下川和洋氏 (地域ケアさぽーと研究所)</p> <p>〈133分〉</p>		<p>「医療的ケア」ってなんとなくわかるけど、よく知らない方は多いのではないのでしょうか。長年、医療的ケア児の支援や教育に携わってきた下川和洋先生が、いろんなアイテムや動画を使ってわかりやすく説明してくれるので、感動しながら医療的ケアについて学べる研修です。</p>
<p>25</p>	 <p>高齢者の生活を支援するために～高齢者と家族の心理の理解～ 小幡真也氏 (フロリール調布)</p> <p>〈70分〉</p>		<p>「あなたは目玉焼きに何をかけますか？」介護福祉士の小幡真也先生のこの問いかけは、思い込みについて改めて考えるきっかけを与えてくれます。高齢者への理解を深めることができる研修です。ユーモアを交えながらの講義ですので、楽しく学ぶことができます。</p>
<p>26</p>	 <p>高齢者の自立を支援するために～介護予防の視点～ 小幡真也氏 (フロリール調布)</p> <p>〈50分〉</p>		<p>フロリール調布勤務歴20年超の現場経験豊富な小幡真也先生が、たくさんの事例を交えながら高齢者の自立についてわかりやすく説明しています。異性介護や障害の自立概念から見た介護についてもお話しています。</p>
<p>27</p>	 <p>ジェンダー平等と包括的性教育 浅井春夫氏 (立教大学) <b>New !</b></p> <p>〈60分〉</p>		<p>福祉現場では、人前で性器を触る、服を脱ぐ、異性の利用者や職員に抱きつく、自慰行為を繰り返す、体をじろじろ見るなどの利用者の行動に対し、支援者がどう対応するかが課題になっています。そこで、性を人権の視点で捉え、自らと他者の尊厳を大切にできる知識、態度、スキルをはぐくむ「包括的性教育」について、浅井春夫先生にお話していただきます。福祉現場でどのように利用者の性に関わったらよいのか、考えたい方におススメの研修です。</p>

【問い合わせ先】

調布市福祉人材育成センター（こころの健康支援センター内）

☎：042-452-8180（月～金 9：00～17：00）メール：jinzai@ccsw.or.jp ホームページ

